



神戸YWCAの100年の歴史の中で苦難の経験は幾度もありましたが、とりわけあの敗戦と阪神淡路大震災、そしてこの度の新型コロナウイルス禍はそれであると思えます。これまで、私たちは試練から立ち上がる苦闘の過程を通して神戸YWCAのアイデンティティーを見い出してきました。

敗戦後、私たちの先輩たちは、キリスト教基盤に立つことを自己の内的な信条としてだけでなく、キリストの平和を求めて「再び戦争をしない国」を実現するために非戦を訴え、『核』を否定し、平和憲法を護ることを、女性の立場から情熱をもって実践してこられました。神戸YWCAはもちろんのこと、それは全国のYWCAの一致した運動となりました。

25年前、神戸YWCAは創立75周年のために準備を進めていました。その8年前に新会館が建てられて先駆的な事業を推進していましたが、バブル経済崩壊とともに陰りが見え始め、財政的に逼迫し苦境にありましたから、この機会になんとか打開したいとの思いがあったのです。けれどもその年(1995年1月17日)、未曾有の阪神淡路大震災。会館もすべての計画や思惑も激震のもとに崩壊してしまい、私たち自身も被災者となりました。翌日、混乱の中で救援センターを立ち上げ、全国からのボランティアと共に公的支援の届かない被災者への救援活動を続けました。この苦闘の体験によって、被災者である私たち自身がニーズをもった主体であり当事者であると気づき、「地域の人々と共に生きる」という新たな活動の視点と使命を見出すこととなりました。これが、神戸YWCAが苦境を脱して再び立ち上がる力となり今日に続く事業活動となったのです。

さて、この度の新型コロナウイルス禍はどうでしょう。災禍にそのものに対して私たちのできることは限られ、感染拡大防止のために自粛。集まり、話し合い、親しく接することを大切にしてきた活動の多くを延期したり縮小したり、また中止にもしました。しかし緊急事態宣言の発令と延長は、私たちの暮

らしを安心・安全に導くどころか、人としての尊厳を脅かし、子どもたちの学習権を奪い、差別と分断が危惧されるようになりました。この期に乗じて改憲による緊急事態条項創設を目論む動きも露わになっています。問題が社会によってつくり、私たちがまたもや社会的弱者とされていることは疑い得ません。

100周年イヤーが、このような危機から始まったのは、神のみ旨かもしれません。抑圧され、痛めつけられ、弱く小さくされている者と共におられる主イエス・キリストに倣い、私たちは当事者性をもって「地域の人々と共に生きる」道を歩み続けることで困難な状況を乗り

り越えて行きたいと思えます。

現在私たちは、これまで皆でつくってきた多様な事業活動を有機的につなげて「神戸YWCA総合サポートセンター(仮)」を生み出そうとしています。ぜひともこの構想を1年かけて実現したいものです。

神戸YWCAの100周年には、何の派手さも立派さも要りません。たとえ本年予定している行事ができなくなったとしても、自分たちの身の丈に合ったこの取り組みが「一人ひとりが大切にされる社会」をつくる一歩となれば、それこそが私たちに相応しい100周年記念事業となる、と私は考えています。

百年目 コロナ禍の

平山 芳子
(神戸YWCA理事長)

新型コロナウイルス感染症への対応と現状

2020年の年明け、中国で発生した新型コロナウイルス感染症の広がりを遠くのできごとのように眺め、2月になると連日、クルーズ船の報道に釘付けになった。3月に入ると感染が日本にも広がりはじめ、パンデミックとなり、対岸の火事ではなくなった。神戸YWCA 保育園、介護事業所まごの手、学院各事業について、現状を報告する。



オンライン授業の様子（日本語コース）

保育園

「先生たちのことも心配だから、家庭保育します！」

緊急事態宣言を受けて、登園してくる子どもたちは少なくなっていました。そこへ、保育所などにおける感染防止を徹底し子どもの命を守るため、原則として家庭での保育に協力いただく「特別保育」期間決定の連絡が神戸市から入り、保護者にこれからどうされるかを伺っていた時の声です。私たち職員は公共交通機関での通勤や、0・1・2歳児との濃く、密な毎日に対して、心配と理解を示してくださったのです。

「お仕事は大丈夫ですか？」

職員のことを心配してくださったことは大変うれしいのですが、私たちは各家庭の状況を心配しました。短い時間でお互いの状況を想像し、思いやる気持ちが行き交いました。コロナウイルスは本当に怖いですが、素早く全体把握ができ、保育園と家庭が信頼関係でつながりあえる小規模保育は「強い」と感じています。

「元気ですか？」

「お父さん、お母さん、困ったことはありませんか？」

毎週木曜日に電話をして安否確認。通常より長めにお話することもあります。

自治体からは、登園を控えた家庭に対して、預けていない日数分の保育料が還付され、保育園への運営費は在籍園児数に応じて支払われます。

YWCAの会員からは手づくりのマスクが届きました。これらのことが、安心して園を維持し、子どもの命を守ることに専念できる軸となっています。（園長・梅川 玲子）



まごの手

3月頃から頻繁に行政通知が届くようになった。ある日の通知。デイサービス等の施設で感染者が出て閉鎖された場合、濃厚接触者や感染疑いの人は自宅待機となり、代替サービスが必要になる。ケアマネジャーが必要と判断すれば訪問介護がその役割を担うように、とのこと。

マスク、アルコールは欠品で在庫も心もとない。手袋、キャップ、シューズカバーは入手できたが、ガウンが足りない。行政は、「備蓄マスクは医療機関に放出したので、訪問介護の分はない」。こんな状態で訪問介護事業所に代替サービスを求めるのかという思いだった。

サービスを途切れさせないためには、「感染しない・させない」ことが重要だ。職員・ヘルパーは毎朝検温し、熱や風邪症状がある時、体調不良の時は休む。また、ヘルパーのサービス訪問時には利用者にマスク着用を促し、検温と体調観察を行う。部屋の換気、サービス前後の手洗いを徹底する。発熱のある利用者を訪問したヘルパーは他の利用者を訪問しない等、いくつかのルールを作った。しかし、人員に余裕はない。発熱＝新型コロナウイルス感染とは限らず、ルールの見直しも必要となる。

マスク入手が困難だった時期、会員から寄付された手づくりマスクを利用者に届け、大変喜ばれた。こういう時は、人の優しさや温かさが心に響く。神戸市中央区は、単身世帯の40%が高齢者である。まごの手ヘルパーは日々、支援を要する人たちの生活を支えるために奔走し、ケアにあたっている。

（所長・寺内 真子）

（学院長・西本 玲子）



学院

日本語、日本語教師養成、外国語、地域福祉、文化教養コースは全て対面授業であり、今回の新型コロナウイルス感染禍においては、一番大きな打撃を受ける事業のはずだった。

しかし、一番最初に「オンライン授業を行おう」と声をあげたのは、日本語講師たちだった。一気に「Zoom」でオンライン授業を行う段取りを整え、4月から一部のクラスでスタートしている。講師と学習者の負担を考えて授業時間は短くせざるを得ないが、講師たちの努力で、まずは受講生にも概ね好評とのこと。本当に感謝である。

外国語コースでは、子どもの英語保持クラス「All Together」で臨時にオンライン授業を導入。文化教養コースの「発声 & 歌唱教室」は「Zoom」でのレッスンが難しいので休講としている。

オンライン授業の可能性について、日本語コース櫻井副主任に聞いてみた。誰もがどこからでも学習機関を探せるため、今後価格破壊が出てくるかもしれない。また、語学の授業ではノンバーバル（言語によらない）コミュニケーションが重要だが、オンラインではそれが使いづらい。対面授業を希望する学習者も一定数以上いるので、対面授業がなくなることはないだろう。オンラインは対面の代替ではなく全く違うアプローチとして、違った教え方や教材が求められるのではないか、とのことだった。

コロナという困難を通してではあったが、これを機に、これまで出会えなかった人たちにも開かれる神戸YWCA学院になれたらと思う。



ありがとうございました！

布マスクのご寄付

神戸YWCA 機関紙4・5月号にチラシを同封、神戸YWCA ホームページなどでも支援をお願いしたところ、4月1日～5月14日までの間に、延べ39件、合計524枚のマスクが寄せられました。



夜回り準備会へのご支援

路上生活者に配布するためのマスクと寄付の呼びかけが4月28日より数回にわたって神戸新聞「暮らしの情報」欄に掲載され、多くの支援が寄せられました。5月25日現在で、19人の方から計約20万円のご寄付と、41人の方からマスクや物品を提供いただきました。



● 行き場を失った人々はいま

新型コロナウイルスが問題になり、神戸市立更生援護相談所（誰でも泊まれる一時宿泊施設）が閉鎖されかけたので抗議し、その閉鎖が撤回されたのが序幕でした。

緊急事態宣言が出され、「自粛の強要と相互監視」という気持ちの悪い雰囲気広がっています。この全体主義に道を開く意識の問題は、今後深刻化するでしょう。

この件に関して夜回りが直接関わるのは、ネットカフェが閉鎖されて行き場を失った人のことと、10万円の給付金のことです。総務省や報道は、「ネットカフェ難民が困らないようにする」「ホームレスの人も給付金を受け取れる」という宣伝をし、そういう印象を与えました。

夜回りのメンバーが兵庫県や神戸市に、ネットカフェを出される人にどう対応するのか尋ねると、通常のホームレス対策で対応するという答えでした。尼崎市は市営住宅に有料で受け入れることがわかり、神戸から申し込んだ人とコンタクトしたりしました。県営住宅は無料で5月6日まで、市営住宅は1年間（家賃2～4万円）、などと対策は少しずつ広がっていますが、対応が遅い。

給付金はホームレスでも受け取れると報道されていますが、住民票が必要です。住民票を作るには住まいを確保する必要があります。イタリアで、役所が架空の町を作って住所を置き、住まいのない人が郵便を受け取ったり、手続きをできるようにしたという話を聞いたことがあります。そういう工夫が必要ではないか、また、部屋を借りたいが初期費用のない人を支える方法がないか考えています。

夜回りは、マスクを届けたりしながら、いつも通りです。（野々村 耀）

あの不思議な光景を見届けよう

兵庫県に緊急事態宣言が出された。神戸YWCAも一部の事業以外は活動自粛となり、在宅勤務も始まった。ZOOM会議が一気に押し寄せ、一方、財政的にいかに今をやりくりするか、問い合わせと検討を繰り返した。

あれよあれよと1カ月半がすぎた。そんな時、あるラジオ番組を聞いた。1冊の本「コロナの時代の僕ら」が紹介され、そのあとがきはこうだった。「全てが終わった時、本当に僕たちは以前と全く同じ世界を再現したいのだら

うか」。この根本的な問いかけに「あっ」と思った。

「あの不思議な光景を見届けよう」と歩み出し、その不思議な光景とはこれに違いない、と全身全霊をぶち込んで申請した助成金が取れず呆然としていたところに、コロナ感染禍が起きたのだった。見るべきものは、私の理解を超えた、もっと不思議な光景だったのかもしれない。「ああ、再出発なのですね」と変に腑に落としつつ歩みだす、緊急事態宣言解除前夜である。（総幹事・西本 玲子）

子ども日本語トータルサポート募金

あなたの寄付で子どもたちにチャンスをも！

初期日本語学習

「勉強に役立つ日本語クラス」

教科学習

オリジナル教材作成

居場所づくり

進学相談

今年はオンラインを活用したプログラムも予定しています。

外国にルーツを持つ子どもたちのためのトータルサポートをご支援ください！

目標額 **200万円**
募集期間 **～2020年9月30日**

ご寄付はこちらへ



・郵便振替 01100-0-10298 公益財団法人神戸YWCA

※振替用紙の通信欄に「子ども日本語」とご明記ください。

・クレジットカード（オンライン決済）※QRコードを読み取り、アクセスしてください。

神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります。詳しくは事務局へお問い合わせください。



いま世界中が
新型コロナウイルス感
染の広がりを
食い止めようと戦
っている。私
の通う教会でも
礼拝がそれぞ
れの生活の場
での礼拝とな
り、YWCAでの
日常の活動も
難しくなっ
てきている。「
ステイホーム
ム」という耳
慣れない言葉
とともに、家
から出ない、
人と会わな
いという全く
初めての生
活を体験し
て約1カ月半
になる。

2月中旬に同居の義父を神さまのところに送ってまだ間がない私は、慣れない一人暮らしを始めたばかりだった。誰かの声を聞きたい、誰かと話したいと切実に思った。電話で話すことを通して、メールのやりとりを通して、人の声には慰められ、言葉には力づけられた。今

から25年前、阪神淡路大震災のときも、神戸の街の中で私たちはお互いの安否を確認し、「一人じゃないよ」と声を掛け合っ

て慰められた。神戸YWCAの震災支援はそこから始まった。神さまはいつでもどんな時でも私たちのそばにいて呼びかけておられる。いま改めて、私も誰かのそばにいます。誰かに声を届けることができる人になりたいと思っ

ている。（宮田 泰子）

「韓国への旅」延期のお知らせ

神戸YWCA創立100周年の今年、100周年事業実行委員会は、韓国の今を肌で感じたい、「韓国への旅」を10月19日(月)～22日(木)の実施に向けて進めてきた。しかし、新型コロナウイルスの感染が世界中に広まる中、実施は難しいと判断し、残念だが延期することにした。

韓国で訪問を予定しているソウルYWCAではいま、会員が定期的に祈りの時を持ち、特に女性に関わる問題をオンラインで共有したり、地域の医療・宅配従事者のために応

援キットを作るなど、様々な取り組みで会員のつながりを大切にしているそうだ。

ソウルYWCAへも近いうちに訪問できることを願いつつ、互いにYWCAの姉妹として思いを共にしこの状況に立ち向かいながら、「韓国への旅」が実施できる日のために準備を進めていきたいと考えている。
(神戸YWCA100周年事業実行委員会・宮田 泰子)

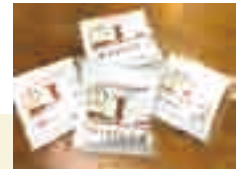


クレジットカードでかんたん決済

神戸YWCAのホームページで、クレジットカード決済ができるようになりました。

寄付・賛助費・会費・会友費にご利用いただけます。

右のQRコードを読み取り、アクセスしてください。



■ 運営委員会報告

(4月) Zoom 会議

【報告】▶理事会▶日本YWCA 関連①中央委員会②次期総会期ビジョン・ミッション・バリュー▶各部・プロジェクトメンバー募集の件▶新型コロナウイルス感染症の影響について【議事】▶運営委員から理事選出▶日本YWCA 次期総会期ビジョン・ミッション・バリュー協議▶2019年度運営委員会活動報告確認▶LA2▶つながるメール運営

(5月) Zoom 会議

【報告】▶日本YWCA 関連①全国総幹事会②全国会長会▶つながるメール文案▶各部・グループ活動【議事】▶新グループ「神戸YWCA ジェンダーを考える会(仮)」設立承認▶日本YWCA 次期総会期ビジョン・ミッション・バリュー▶各部メンバー募集の進捗と近況
(書記・福田 百)

■ 理事会報告

5月30日(土)第7回理事会開催。出席理事*人、出席監事2人。2019年度事業報告・

決算報告承認、新型コロナウイルス禍における財政対策、総合サポートセンター構想実現の件、総幹事任期満了の件などが協議承認された。また同日、理事会に先立ち、監事2人による2019年度会計監査が行われ、承認された。

(総幹事・西本 玲子)

■ 新入会員

草地 とし子 (敬称略)

■ 賛助員

三浦 哲朗 平木 貴美子
坂井 宗月 岩村 義雄
(敬称略)

■ 訃報

宇都宮佳果さん 3月29日ご逝去。聖書を読む会講師として、おおらかに「聖書」を親しくご指導いただいた。感謝。

■ 編集後記

やっと「新型コロナウイルス」の緊急事態宣言から解除。油断はできません。これからは「コロナ」と共に生きる知恵を見つめましょう。(S・T)

YWCAオリジナルドリップコーヒーをどうぞ!

ファンドレイジング実行委員会では、コロナ禍にあっても休めず働いていてくださる介護現場の方々や、いつも支援してくださっている地域のお店や企業などに、オリジナルドリップコーヒーをプレゼントしました。

健康や経済の不安で先が見えない私たちですが、今できることは?と考え、動き始めました。コロナに負けず、少しでも癒しの時間が持てるように、共に希望を持って歩めるように願います。

(斎藤 明子)

日本YWCAのセーフ・スペースに参加して

日本YWCAでは、新型コロナウイルス感染拡大と外出自粛を受け、「こんな時だからこそ繋がりを大切にしたい」とオンラインでYWCAの仲間と繋がりを「webセーフスペース」を開催、私は第5回の「webセーフスペース」に参加した。東京YWCA「留学生母親運動」と熊本YWCA「ぶれはぶカフェ」の取り組みの分かち合い。セーフスペースであるから、特に発言はしなくてもいいし、顔を出さなくてもいいし、いつでも退出できる。遠く離れている仲間と確かに繋がっていると思える時だった。

神戸YWCA運営委員会でも活動が休止となっている今、会員同士で繋がってもらいたいと、5月16日(土)の午後「Zoomカフェ」、夜に「Zoom飲み会」を開催した。繋がった仲間は少なかつたが、カフェでは思いがけない先輩の参加があり、楽しい時となった。
(野村 春美)

コロナ時代の、顔が見える“つながる”コミュニケーションツール

Zoom (ズーム)
時間制限がありますが、無料で使えます。

LINE (ライン)
トーク画面にある受話器マークを押すと、「ビデオ通話」マークが出てきます。

Google Meet (グーグル ミート)
Google (gmail)のアカウントがあれば、誰でも使えます。

パソコン、スマホ、タブレットで、気軽にビデオ通話ができる代表的なアプリを紹介します。グループでの通話もOK。

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～
パート 時給 1,100～1,200円
登録型 時給 1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆ 生活支援訪問サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎ 078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

よい てん ごく

0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町 2丁目 13-2
URL: <http://sanosousai.com>